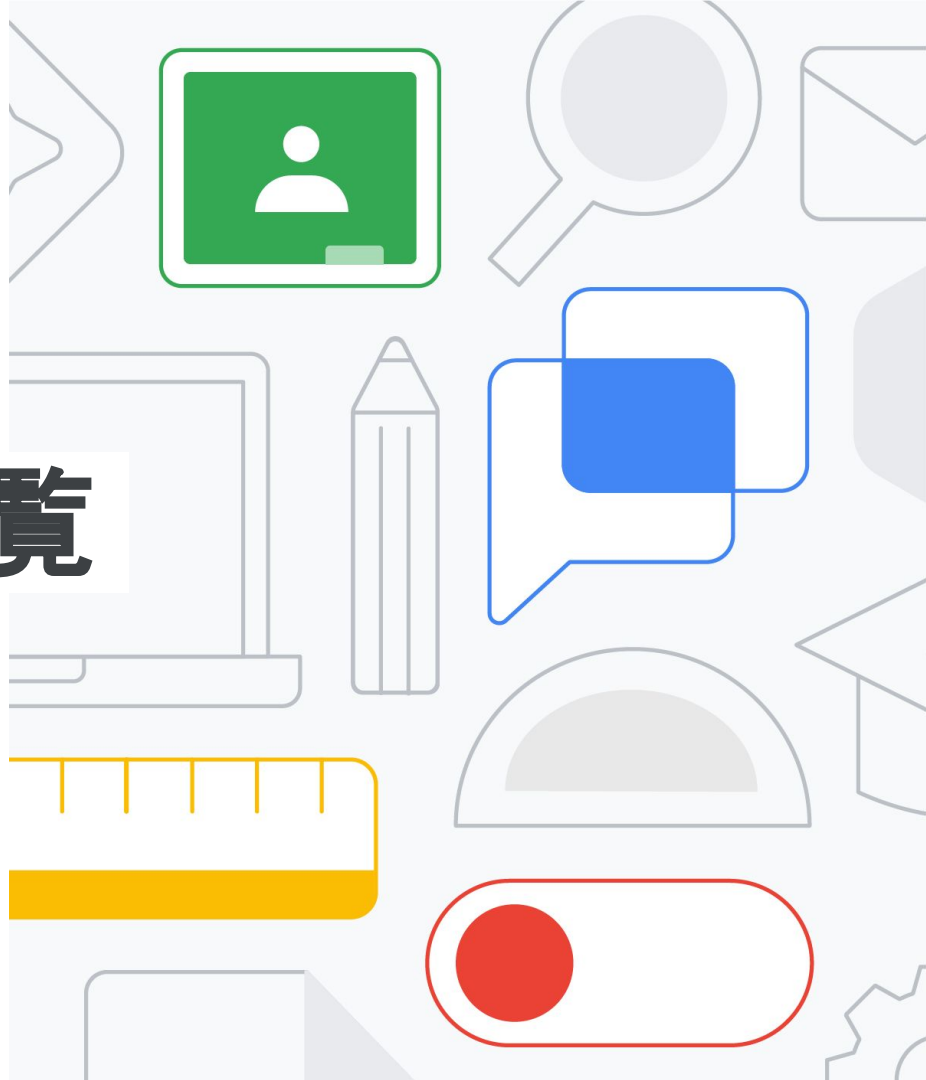
Google for Education

研修プログラム一覧



研修プログラム一覧

※お申し込み詳細、手続きについてはお問い合わせください

初中級	ICT に不安がある方、ICT を使い始めた方の背中を押します
1	スタートアップ研修
中上級	**ICT を日常的に活用し、活用の幅を広げたい方へ基本～応用までお伝えします**
2	コア研修
3	コア Plus 研修
4	アドバンス研修

※ 端末が他 OS から Chromebook へ変更になった等、新規で Chromebook を利用される場合、スタートアップ研修、 もしくはコア研修からの提供となります。
（スタートアップ研修、もしくはコア研修実施後に、その他の研修も実施可能となります）

スタートアップ研修

スタートアップ研修

対象者	Google Workspace for Education を使い始めた方や、使い始める方の指導をされる方 指導主事、推進リーダー、モデル校の教職員、他　OS 採用の市町村から異動してきた方
実施形式	オンライン形式
所要時間	90 ～ 120 分 程度 （※ より多くのアプリ紹介やワークの時間確保のため、 120 分推奨）
人数	20 ～ 40 名程度
研修のゴール	・Google for Education についての理解を深める ・Google Workspace for Education アプリの活用イメージを持つ
研修内容	・Google for Education 概要の説明 ・Google Workspace for Education の主要アプリ活用の児童生徒側の体験

スタートアップ研修　アジェンダ

内容	
1	挨拶・ゴールの確認
2	Google for Education とは？ ・Chromebook や各アプリの特徴 ・クラウドの概念
3	Google Classroom のご紹介 ・児童生徒役としてクラスに参加
4	Google フォームのご紹介 ・児童生徒側としてクイズに挑戦 ・自動集計機能の解説
5	同時編集アプリのご紹介 ・Google スプレッドシートで同時編集 ・Google スライドで同時編集
6	活用事例のご紹介・まとめ

【活動の例】Google for Education の概要と主要なアプリのご紹介

Google Classroom の基本機能や Google フォーム の自動採点・分析の特徴などを紹介します

Google Workspace for Education の特徴

Google Workspace
for Education

✓ すべてのアプリが **“無償”** で利用可能

✓ すべてのアプリは ブラウザ上で利用する
クラウドベースのアプリのため **“インストール不要”**

14

全てのツールのハブとなるのが Classroom

122

既存の素材を活かすことも

モノクロと言葉だけの説明では分かりづらいものも、
カラーで鮮明な画像をそのまま挿入することができる

75

Google フォームはあくまで “選択肢の 1 つ”

これまでの授業の中で
選択肢としてあった
“挙手” や “ワークシートへの記入” に
加えて、**選択肢が 1 つ増えるだけ**

↓

児童生徒の意見を聞くすべての場面で
Google フォームを使う必要はなし

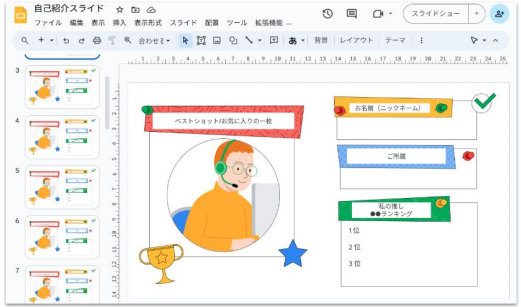
72

【活動の例】同時編集体験

Google スプレッドシート や Google スライドを使ったアイデア出しなどを体験します

協働作業

自己紹介スライドを作成しましょう

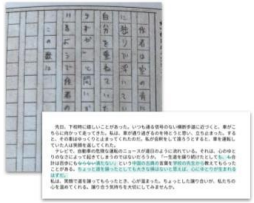


各アプリの機能を手段としてどう取り入れるか

機能としてはどちらも意見を収集することができる

紙とえんぴつ？Chromebook とドキュメント？

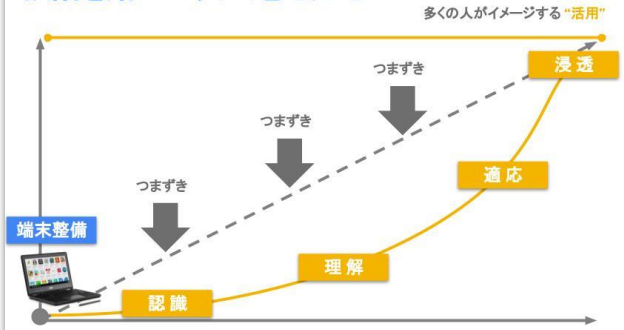
ひらがなや漢字の “とめ” や “はね”
はこれまで通りの紙とえんぴつ



下書きや文章の推敲は
Google ドキュメントが便利

出典：GIGA スクール はじめて日記

段階を踏んでうまく巻き込む



コア研修

コア研修

対象者	各校推進教員、Google Workspace for Education の基本操作を身につけたい方 ※オンデマンド研修を修了していることが条件となります
実施形式	対面またはオンライン形式
所要時間	【６時間コース】6 時間 【前半コース】3 時間 【後半コース】3 時間
人数	20 ～ 40 名程度
研修のゴール	・Google for Education の概要（Chromebook、クラウド活用、共有等）を理解する ・Google Workspace for Education の主要ツールの「基本のき」を学ぶ
研修内容	・Google Workspace for Education の主要アプリの教員としての操作習得 【前半コース】Google ドライブ、Google Classroom、Google フォーム 【後半コース】Gmail、Google Chat、Google Meet、Google カレンダー、Google Keep 【６時間コース】前半・後半コースの全内容

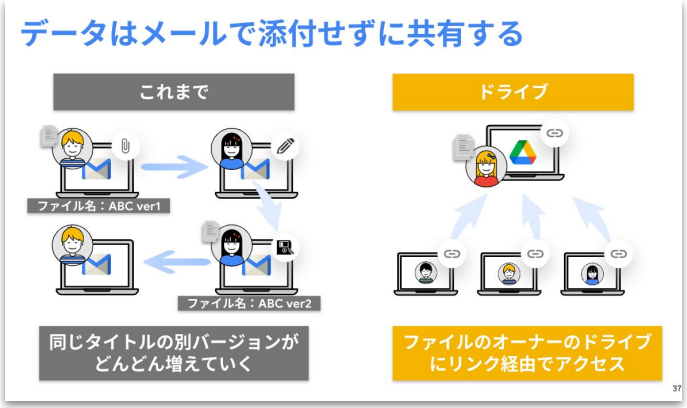
コア研修 アジェンダ

内容		
前半	1	Google for Education とは＜おさらい＞
	2	Google ドライブ（マイドライブと共有アイテムの違い、同時編集体験など）
	3	Google Classroom（教師側としてクラスの作成、課題の作成～採点・返却、生徒側として課題の提出など）
	4	Google フォーム（自動採点・分析機能の紹介、ミニテスト作成）
後半	5	新しいコミュニケーションツールについて Gmail、Google Chat、Google Meet
	6	新しい “情報の整理” について Google カレンダー、Google Keep
	7	研修全体を通して＜振り返り＞
	8	質疑応答・アンケート

【活動の例】Google for Education の教員としての基本操作習得

A,B
コース
共通

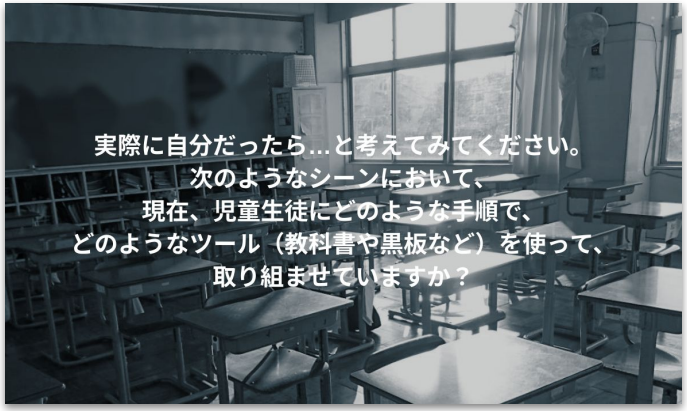
Google Classroom や Google フォームといった、授業で使うアプリの基本的な操作を体験します



【活動の例】Google for Education の教員としての基本操作習得

Gmail や Google カレンダー といった、主に校務で使うアプリの基本的な操作を体験します

B
コース
のみ

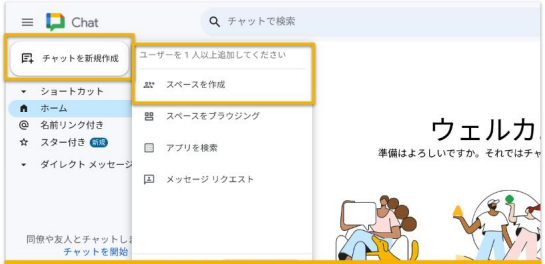


これから新たな “選択肢” として使えるツール

Gmail　Google チャット　Google Meet

157

ダイレクトチャットとグループチャット

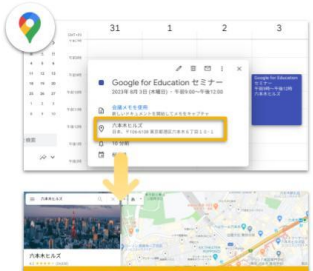


検索窓からユーザーを検索するか、グループの会話を選択

180

外部での予定は住所を入れておくと便利

作成時に住所を入力



作成した予定の住所をクリック

285

コア Plus 研修

コア Plus 研修

対象者	コア研修受講済の方、コア研修相当の内容を習得済みの方
実施形式	対面またはオンライン形式
所要時間	3 時間
人数	20 ～ 40 名程度
研修のゴール	・Google Workspace for Education 活用の「きっかけづくり」として、 日々の業務や出来事と、Google Workspace for Education の各アプリを結びつける。
研修内容	・Google Workspace for Education の各アプリを活用できる場面を考える ・アプリ活用のゴール実現のためのチャレンジ シートの作成 ※作成したチャレンジ シートは各学校でご活用いただけるよう参加者全員で共有します

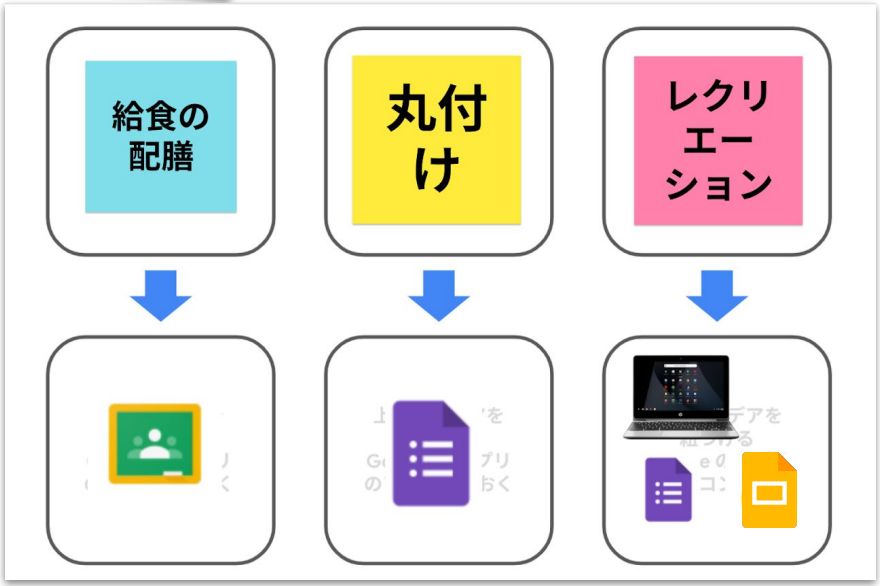
コア Plus 研修 アジェンダ

	内容
1	導入・コア Plus 研修の位置づけとゴールについて
2	Google Workspace for Education おさらい ・Google フォームで各アプリの特徴についての振り返りテスト
3	【ワーク 1】Google Workspace for Education との結びつけ ・日頃の業務や出来事を洗い出しアプリと紐づける ・グループ・全体発表
4	【ワーク 2】チャレンジシートを作成する ・ワーク 1 を参考に、アプリを活用して取り組みたいことを実現するためのチャレンジシート作成 ・グループ・全体発表
5	まとめ・アンケート

【ワーク 1 の活動例】Google Workspace for Education との結びつけ

Google スライド で日々の業務や出来事を洗い出しアプリと紐づけます

協働作業

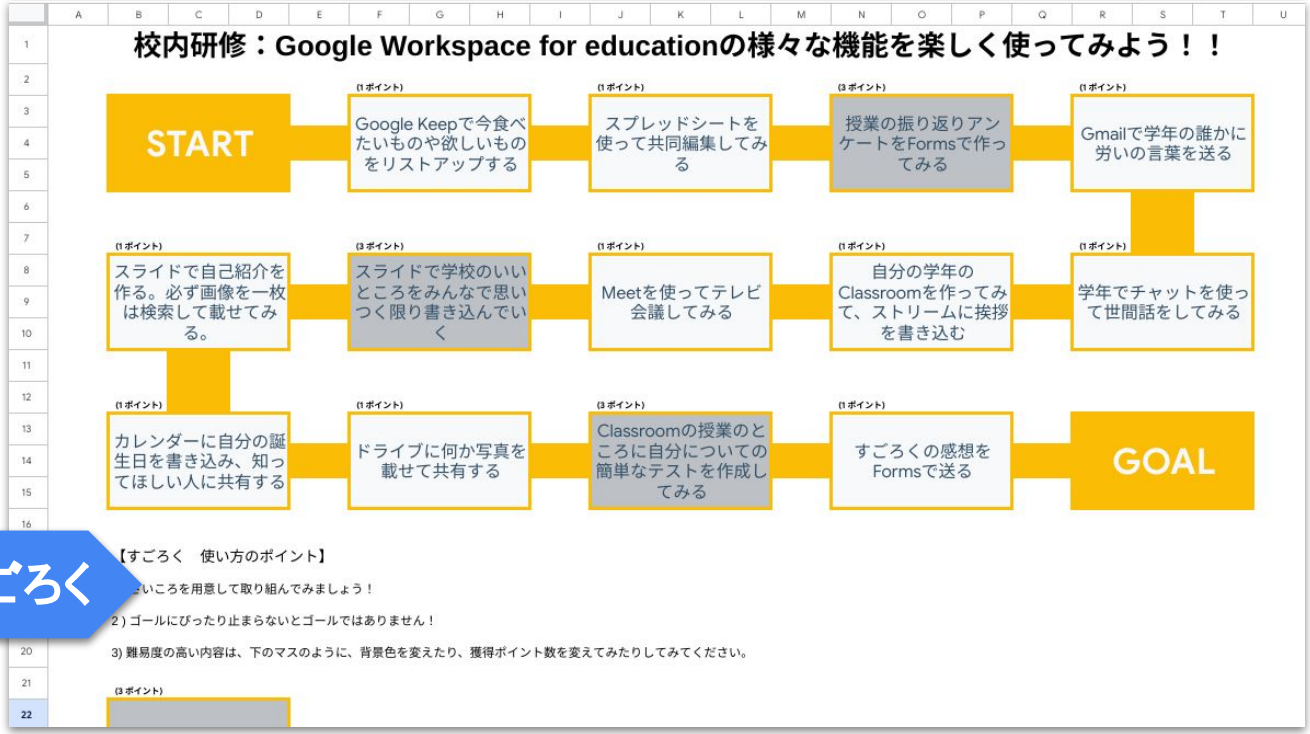


日頃、先生や児童生徒が授業や校務で行っていることを洗い出し、どんなアプリが使えるかを紐づけて考える

【ワーク 2 の活動例】チャレンジシートを作成する

アプリを活用して取り組みたい課題を実現するためのチャレンジシートを作成します

個人または
グループ

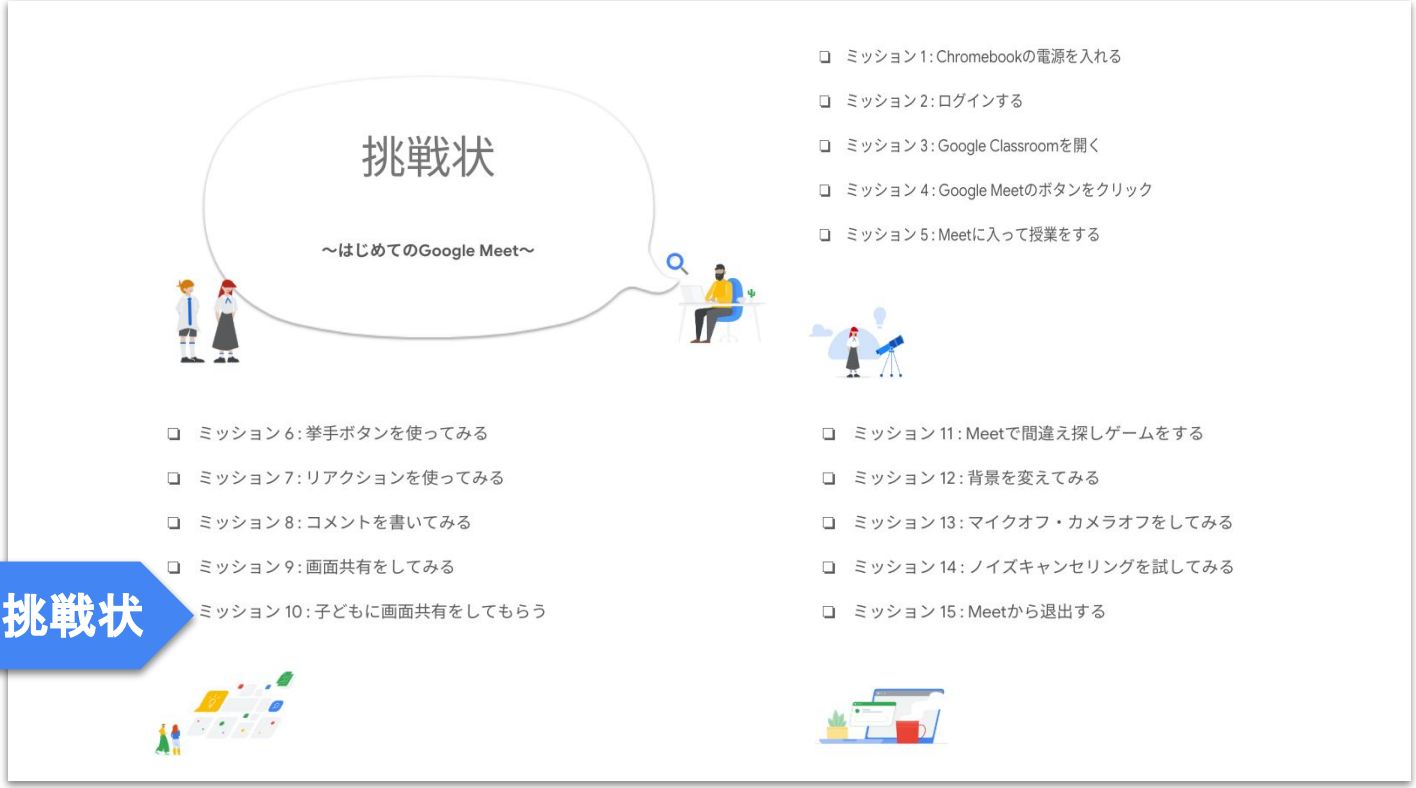


すごろく

【ワーク 2 の活動例】チャレンジシートを作成する

アプリを活用して取り組みたい課題を実現するためのチャレンジシートを作成します

個人または
グループ



挑戦状

【ワーク 2 の活動例】チャレンジシートを作成する

アプリを活用して取り組みたい課題を実現するためのチャレンジシートを作成します

個人または
グループ

テーマ：各教科でChromebookを使いこなそう！（高学年バージョン）

	国語	数学	社会	理科	その他
100 ポイント	Google Classroom にログインする	課題の期日を Google カレンダーで確認する	Google Earthで歴史的建造物や地域の様子を確認	写真や動画機能を使う	ストリームでメッセージを打ち込んだり、リンクを貼り付ける
200 ポイント	寿司打で練習編をクリア	問題を作って友達と交流する Google スライド	資料からわかることを Google スライドに書く	写真をいろいろなアプリに挿入できる	アプリと並行で言葉や画像の検索ができる
300 ポイント	読み物教材の感想を Google ドキュメントで書き交流する	問題を作って（問題文にあった写真を添付）交流する	グループで Google スライドのシートを分類する	植物の観察シートを作る（写真付き） Google スプレッドシート	係や委員会で Chromebookを使って作業する
400 ポイント	写真を挿入し俳句や短歌を作成 Google スライド	アンケートをとり、グラフや図を作成する	Google フォームで歴史問題を作る	植物や実験の写真で変化を見比べ、気づいたことをまとめる	家でミーティング機能を使い、参加できる
ント	提案したい事柄について、グラフや図を挿入してプレゼンする	グラフや図を挿入して問題を作る	写真や資料を挿入し、歴史新聞を作る	スライドで実験の結果を写真にとり、まとめ、発表する	自分で必要なアプリを選んで課題を解決し提出する

ジェパディ

【ワーク 2 の活動例】チャレンジシートを作成する

アプリを活用して取り組みたい課題を実現するためのチャレンジシートを作成します

個人または
グループ

テーマ：　グーグルめいじんへのみち　～みならいへん～

1	2	3	4	5
でんげんをオン・オフ	ログイン（パスワード）　みて	ログイン　みないで	はいけいをかえる	カメラをひらく
6	**7**	**8**	**9**	**10**
カメラ　しゃしんをとる	カメラ　キューアールコード	カメラ　どうがをとる ともだちのうごき	カメラ　じこしょうかい	ミートをつなぐ　ペア
11	**12**	**13**	**14**	**15**
ミート　グループ	ミート　マイクをオフ	ミート　がめんをオフ	ミート　はいけいかえる	ミート　じこしょうかい
16	**17**	**18**	**19**	**20**
チャットルームにはいる	チャット　ペア	かだいをひらく	クイズこたえる	アンケートにこたえる
21	**22**	**23**	**24**	**25**
ていしゅつする	ドキュメント　ひらく	おんせいにゅうりょく しゃべる	おんせいにゅうりょく じこしょうかい	じこしょうかい　しゃしんをいれる

30 のチャレンジ

アドバンス研修

アドバンス研修

対象者	コア研修受講済の方、コア研修相当の内容を習得済みの方
実施形式	対面またはオンライン形式
所要時間	3 時間
人数	20 ～ 40 名程度　※コア研修を修了または同等の活用度の方が対象となります
研修のゴール	・Google Workspace for Education の授業での実践のイメージができる
研修内容	・Google Workspace for Education のツールを用いた授業での実践について ワークショップ形式で学ぶ

アドバンス研修 アジェンダ

	内容
1	【パート１】 ・Google スプレッドシートの共同編集で活用事例を共有し全体発表 ・コア研修で取り扱ったアプリの応用機能ご紹介
2	【パート２】 ・全国の活用事例の紹介 ・同時編集の実践例についての個人ワークと全体発表
3	【パート３】 ・実践事例をもとに、グループでミニ授業案を作成 ・全体発表
4	まとめ・アンケート

【パート 1】共同編集で、今までに行った実践例を共有

アプリの機能のおさらいをしながら参加者同士で実践例や疑問・課題を共有します

協働作業

協働編集の体感

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール アドオン ヘルプ 最終編集: 数秒前

名前	①Google for Edcucationを使ってみた事例	②質問(あれば)
	・係活動のアンケート（遊び係・新聞係・ミュージック係）を行った。 ・学習室登校の児童とMeetでつないで授業を行った。 ・体育のハードル走やリレーのバトンパスなどを動画で撮りクラスルームで共有し自分の課題を見つける時間を作った。 ・地域教育会議の発表をスライドで子どもたちが作成して地域の方に向けて発表した。（写真を撮ったり動画を撮ったりするなどの取材もchrombookで行った。） ・説明文の要旨をまとめたものを課題で送って、回収した。	※悩みです。 始めたばかりなので、タイピングをするよりも手書きのほ の時間がいつもよりも多くかかる。
	クラスルームで伝言 国語でジャムボードで、夏のもの探し 総合でドキュメントを使い、自分の調べたことをA4、1枚にまとめた フォームで、全校で校内研修のアンケート実施 委員会が作成した動画を、ドライブに保存に保存し、各教室で視聴（スポーツ委員会からの連絡など）	クラスの子どもたちとやっても、全員で書き込もうと ジャムボードも消してしまう子やうっかり消してしま なか先に進めないときもあり、苦労しています。
	・社会科のまとめと発表で、スライドを１人１枚作成し、プレゼン方式の発表をした。 ・学習の振り返りをスプレッドシートに記入して行い、互いに見合った。 ・学年掲示板の実行委員で、何を掲示するかのアンケートをフォームで実施した。	振り返りをスプレッドシートに記入するとき、全員タイピングでさせましたか？またどれくらい時間をとられましたか？ 全員記入させましたが、苦手な子はあまりかけていない事はありました。まずはタイピングの練習が大切だと感じました！
	・Formsでアンケート作成し、回答してもらった。	
	・不登校児童・自宅待機児童にオンライン授業を公開 ・委員会活動の活動内容をクラスルームで共有	
	体育や国語の活動を動画で撮らせ、クラスルームの課題として投稿させた。 学年会で資料を共有（ドキュメント）	ブックを置けず、現状 はどこに日中保管されて
	「ジャムボード」で国語「カレーライス」の作品の魅力を交流し、班で話し合いながら意見をまとめた。 社会の板書記録や資料をクラスルームに投稿し、いつでも振り返りができるようにする。	
	・校外にある畑の観察。（校外なので、しょっちゅう全員で行かれないが、その日の当番が放課後代表で写真をとり、観察。翌朝共有、伝達。）	
	・校外学習の出発式をオンライン化して放送した ・	ょうか。 左右、逆でしたよね。 ありがとうございますm（__ __）m

共有された実践例に関して互いに質問をしたりアドバイスや情報交換を行う

【パート 2】ドキュメント を使用して同時編集の実践例を考える

先行事例のアイディアをもとに個人で同時編集の授業実践例をまとめます

個人作業

同時編集やツールを組み込むことのメリット・注意点も考える

同時編集：授業実践例

❑ 名前

[redacted]

❑ 採用した活用事例

スライドと画像検索を使って俳句・詩づくり

❑ 自身の授業での実践例

・どのようなシーンでどう使うかできるだけ具体的に書いてみましょう

①一つのスライドに人数分のシートを作成および記名
②児童は自分の名前が書かれたシートを使って俳句・詩づくり
　・その季節らしいものを思い浮かべながら画像検索
　・シートに画像を挿入し、場所や大きさを調整
　・俳句は手書きでもテキストボックスで記入でも良い（色も自由）
　・文字、画像の大きさや場所などのバランスをとる

<メリット>
・友達の作業を参考にしながら作成できる
・お互いに見合ってよりよいものにできる
・修正が簡単にできる
・画像の挿入なので、絵などを書く必要がない
・いつでも作品を見返すことができる
・ドライブ上で「クラス俳句集」「クラス詩集」が完成する

<デメリット>
・友達と似たようなものになりトラブル（真似したでしょ！してないよ！こっちが先だったetc…）
・手書きの味わいのようなものはない
・掲示する場合は印刷する必要がある

使い慣れている先生は自由にイメージ画像なども挿入

同時編集：授業実践例

❑ 名前

[redacted]

❑ 採用した活用事例

スプレッドシート（実験の時に共同編集）

❑ 自身の授業での実践例

・どのようなシーンでどう使うかできるだけ具体的に書いてみましょう

理科の実験での活用
（てこのはたらき、電気とわたしたちの、水溶液の性質・・・）

・スプレッドシートで班ごとの結果を入力
　※班によってシートをわけて作成しておく
　※時にはグラフなども作成

・予想・考察は個人のスプレッドシートに入力
　※単元によってシートを追加？

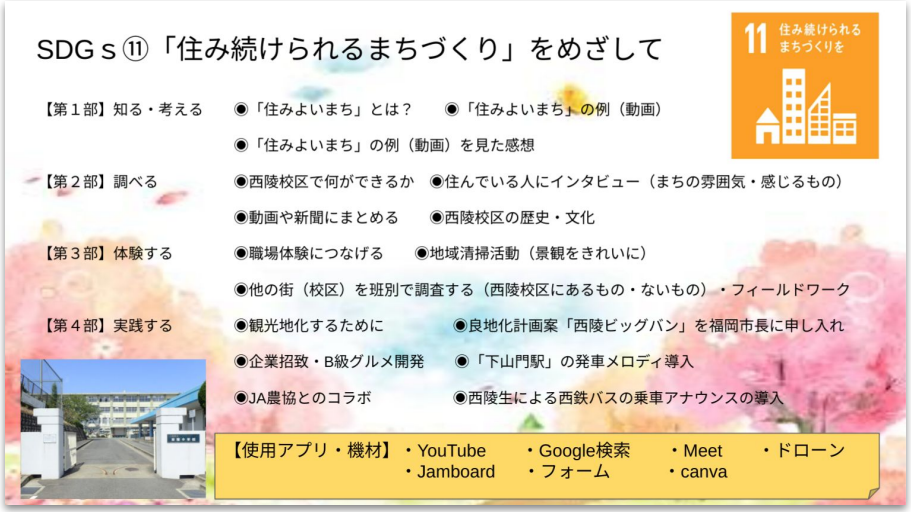
・場合によっては実験の写真や動画を撮って提出 or スプレッドシートに写真を挿入

【パート 3】実践事例をもとに、ミニ授業案を考える

グループで共通のテーマを決め、 Google のアプリ活用を組み込んだミニ授業案を考えます

協働作業

- ✓ 取り扱うテーマは 自由
- ✓ まとめる形式 自由



【成果物一例】実践事例をもとに、ミニ授業案を考える

グループで共通のテーマを決め、 Google のアプリ活用を組み込んだミニ授業案を考えます

協働作業

授業名：３年総合　地域提言（総合２３時間予定）

☆「魅力広がる未来の清里町～今ある良さを広げる～
～新しい魅力を創る～」の
テーマで生徒視点の発想や考えをまとめる

☆単元のまとまりで捉え、その中でICTの活用を構想

ICT 活用を想定した授業案を
実践的に考える

単元の中でのICT活用場面

○単元序盤
：フォームを用いて「清里町の現状・将来を見据えての課題点」を明確化、班分け
：各班の提言を Jamboard を用いて決定する

○中盤から終盤（本番）
：発表資料の作成　→　スライドを使う（担当ページに分かれて共同編集）
：発表原稿の作成　→　スライドを使う（スピーカーノート）

○振り返り
：フォームを用いて、振り返り

ツールの性質を理解し、
活動内容や場面によって、
GWS アプリを使い分ける

【成果物一例】実践事例をもとに、ミニ授業案を考える

グループで共通のテーマを決め、 Google のアプリ活用を組み込んだミニ授業案を考えます

協働作業

メモ
・２校で学校をまたいだグループを作って出し物の交流会
・６年　計２４名
・テーマは学校紹介
・各校３人ずつ６人の班を作る

↓共同編集で詰めてみよう

全体のシステム　（作成　　）
・両校６年生を集めたクラスルームを作成。
・活動は大きく分けて２つ。　「学校紹介」……各校で分かれたチーム。
スライド等にまとめる。「学校」でなく「地域」でもいいかも？
画面共有でスライドを見せるなどしつつ、Meet経由で発表する。
「グループ発表」……各校３人ずつ混合の６人ずつ４チーム。
Meet経由で行えるレクリエーションを企画する。
スプレッドシート共同編集を用いたゲームや、手元に用意した紙に答えを書いてカメラに映す、Meet経由のクイズ番組風のイベントなどが考えられる。
・行事として特別活動に位置付ける。準備期間では、学校紹介は各校でそれぞれ準備し、Meetで交流できるときはグループ発表班ごとの打ち合わせができるようにする。（発表班のクラスルームが必要
・Meetを経由しなくても、クラスルームのストリームで検討事項の交流はできる。意思決定はフォームで班の意見を集約することができる。
・２つのイベントを同じ日に両方行うのか、別々に準備・実施するのかは日程などを詰めながら考えることになる

学校紹介の具体　（作成　　）
白鳥台チーム６人×２班
西が丘チーム６人×２班
学校紹介のテーマ【学校のいいところ】【学校の自慢】が各校で担当
例）白A･･･白鳥台のいいところ　白B･･･白鳥台の自慢
西A･･･西が丘のいいところ　西B･･･西が丘の自慢

方法
グーグルフォームで校内アンケートを作成
自分たちがいいと思う、自慢だと思う点と比較（スプレッドシート共同編集活用）
スライドを使って６枚（１人１枚担当共同編集）
スピーカーノートで発表原稿（発表メモ）作成
発表原稿をグループ内で添削
各校でmeetを活用し、画面共有で作成したスライドを用いてプレゼンテーション
（双方の姿が見られるよう、少なくとも２台以上使い、スライドと発表の様子も見れるようにする）
発表後、スプレッドシートを共同編集で感想交流を行う。（スプレッドシートで行う意図は両校全員の考えに触れる機会の保証）

グループ発表　（作成　　）
各校３名ずつの６名１チームでレクリエーションを考える。各グループごとにclassroomを作成。適宜、意見や質問等ができるようにする。休み時間や放課後に交流しやすくなる。
Meetで顔合わせをし、自己紹介をする。
スプレッドシートの共同編集で、どんなレクをやりたいか、意見を出し合う。
テキストマイニングで多数決の手立てとし、レクを決定する。
レクの内容が決定したら、Meetで内容を詰める。
仮にクイズ大会を行うとしたら、formを用いて、作成する。しりとりならスプレッドなど。
できるだけ、パソコンで行えるようなレクを考えてもらう。
発表の際は、顔を見合うためのテレビと画面共有用のテレビを用意し、Meetで発表を行う。

振り返り　（作成　　）
感想交流で用いたスプレッドシートをワードマイニングにかけ、参加者全体の感想の傾向を見取る。
行事の目標に応じたフォームを教師側で事前に作成しておく。
終了後に、児童がフォームに回答する。
フォームの結果をもとに、両校の実行委員が次回開催に向けてmeet会議を開催する。
ドキュメントで相手校へのお手紙を書き、classroomで共有する。
もらった手紙にドキュメントのコメント機能を使って、必要に応じて返答する。

これまでやってきたような活動も、
どの部分で Google のアプリや ICT を
組み込めるか、グループでアイディアを
出し合う（黄色部分）

オンデマンド研修のご案内

Google for Education

オンデマンド研修のご案内

研修と併せてオンラインでいつでも学べるコンテンツをご用意しています。ぜひご活用ください。

はじめての Google for Education

本講座では、Google for Education の概念、Google Workspace for Education で利用できるアプリケーションや Chromebook の特徴について、はじめてGoogle Workspace for Education を使う方向けに、1 から詳しく学べます。

※ E-ラーニングサイト gacco へご登録の上、ご視聴ください。

Google for Education コアアプリ研修（全 6 本 / 各 1 時間）

本講座では、Google for Education のコアアプリで、できることや基本的な操作方法を学びます。

※ E-ラーニングサイト gacco へご登録の上、ご視聴ください。

Google for Education 放課後セミナー（全 11 本 / 各 30 分）

本セミナーでは、全国から寄せられるGoogle for Education の利活用に関する疑問への回答の他、全国の活用事例のご紹介や Google for Education の便利な使い方についてGoogle for Education 利活用推進チームよりご紹介します。

※ YouTube ライブ配信のアーカイブ動画をご視聴いただけます。